



緑の園 12月号

ヒルトップハイツ
グリーンプラザ
デイサービスセンター
だより

第78号
令和4年12月1日発行

Coda/Led Zeppelin(1982)

新型コロナウイルス感染者の発生について

令和4年11月25日 第4回理事会資料より

11月12日当法人が運営する特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツにおいて、ご利用者様3名が熱発され医療機関でPCR検査を実施したところ陽性であることが確認されました。

感染対策について紋別保健所の指示のもと症状のあるご利用者様、施設職員に対しまして順次抗原検査を実施していますが、13日にはご利用者様3名、14日はご利用者様2名、15日にはご利用者様1名、16日はご利用者様2名、職員4名の新型コロナウイルス陽性が確認されるなど、11月22日までにご利用者様17名、職員12名の合計29名の感染が確認され、うち2名のご利用者様が入院治療をされております。

なお、最初に感染確認された方については順次回復しておりますし、職員についても療養後順次職場に復帰しております。

ヒルトップハイツでの感染により、併設されております丸瀬布デイサービスセンターは、感染拡大を防ぐ観点から今月末まで休業、丸瀬布ヒルトップハイツ居宅介護支援事業所につきましてはご利用者様宅への訪問をできるだけ控え電話等で対応を行っております。

感染確認直後から紋別保健所や、国の災害派遣医療チームである独立行政法人 国立病院機構が来園され

(15日、17日、18日の3日間)感染対策についての助言指導をいただいているところであります。

感染状況については、オホーツク総合振興局、遠軽町に報告するとともに、随時当法人のホームページで公表し、利用者様のご家族様には電話により状況の報告をさせていただきました。

終息まではもう少しの時間を要すると思いますが、さらなる感染が起きないように感染対策を施してまいります。

なお、現在のところ養護老人ホーム緑の園および地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザでの感染はありません。

ご利用者様、ご家族様をはじめ、理事の皆様、関係者の皆様には大変ご心配をおかけしております。

引き続き、紋別保健所と連携して感染対策を行い、早期終息できるよう職員一同全力で取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。(終)



この世に50パーセントの不幸はあるけれども、100パーセントの不幸というものはない。

～松下幸之助～



改築移転工事の 進捗状況。



工事発注から6カ月程度経過し、現在の進捗状況につきましては建築主体工事では渡り廊下の外壁の角波張り、ヒルトップ玄関車寄せの軒天足場組立、躯体の改修では腰壁の解体、壁の間仕切り・床補修などが行われております。

電気設備工事は建物内の調査、既設電源の切り替え機器撤去、配線の振り替え等の工事が引き続き行われており、自家発電設備の設置により緑の園への幹線ケーブル延長工事が行われております。

機械設備工事は各階機械室の配管・ダクト・配線の撤去と並行して、天井内の配管吊り込みを施工しております。

今後につきましても、同様の工事が引きつづき行われる予定です。

内装材の搬入や産業廃棄物の排出など大型車両が通行することがありますので、付近を通行する場合は十分注意をお願いいたします。

現在、全体で出来高は20%程度であります。建築主体では12月末、電気設備では5月、3月には50パーセントになる予定です。(終)

もうすぐ2022年が終わります。

令和4年(2022年)も残すところ1カ月となりました。

今年も結局1月、新型コロナウイルス感染者数は第6波で始まりこの12月も第8波の猛威の中で一年が終わりそうです。

なかなか今年こそはと一念発起して新しいことに取り組みにくくなってしまっていますが、「人とのつながり」の大切さをこの感染症が広まる以前よりことさら強く感じるようになりました。

お話は変わりますが私には「夢」があります。

その「夢」とは中学生の時にクラスメートと組んだバンドでもう一度メンバーと一緒に演奏することです。

そのバンドでのパートはベースギターでしたが生まれて初めて楽器に触れる機会となりました。

中学生の私にとってベースギターは高価なものでしたので購入するためにこれも初めての新聞配達を始めました。

楽譜も読めなかったので同じ曲を何度も繰り返して再生して自分のパートを練習しました。

自分一人で弾いていたことも楽しかったですがメンバーが集まって一緒に練習したことが何より楽しかったです。

少しでも上達を感じられたりいろんな人から褒められたりすると練習意欲が一層高まったり、時には意見がぶつかったりして今でも色あせることのないとても大切な思い出となっています。

バンドとしての活動は高校を卒業するまでの間でしたがメンバーがそれぞれの道を歩み、大人となった今でも交流は続きバンド・オブ・ブラザーズの言葉どおり楽器をきっかけとした一生の絆となっています。

今回、私たちが直面している大きくとても困難な問題につくづく「絆」という言葉の意味とその大切さを感じております。これからもどうぞよろしくをお願いいたします。(Zep最高っ!byおばら)